

水だより

臨時号

令和5年11月発行



上下水道部イメージキャラクター
「びちりん」

令和6年1月から水道料金及び下水道使用料を改定します

上下水道部では、お客様に安全・安心な水を安定してお届けし、使用後の水をきれいにして猪名川へ返すため、これまで経営の健全化を図りながら事業を進めてきました。

しかし、近年、水需要の減少により収入が減少する一方、費用は施設の老朽化に対応するため増加傾向となっています。さらには激甚化・頻発化する自然災害への対応など、上下水道事業を取り巻く環境は年々厳しさを増しています。

このような状況をふまえ、このたび、安全・安心なライフラインを次世代へつなぐために、水道料金及び下水道使用料の改定をお願いすることになりました。皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

● 改定後の料金イメージ（1か月あたり、税抜額）

メーター口径	20mm				50mm	100mm
使用水量	8㎡	10㎡	20㎡	30㎡	1,000㎡	10,000㎡
	2人暮らし		3人家族		店舗など	工場など
						
水道料金	現行料金 ※メーター料含む	760円	910円	2,410円	4,460円	357,260円
	改定後 (差額)	800円 (+40円)	950円 (+40円)	2,500円 (+90円)	4,650円 (+190円)	353,950円 (-3,310円)
下水道使用料	現行使用料	470円	540円	1,230円	2,080円	170,490円
	改定後 (差額)	540円 (+70円)	626円 (+86円)	1,486円 (+256円)	2,536円 (+456円)	211,226円 (+40,736円)
差額合計 (水道+下水道)		+110円	+126円	+346円	+646円	+37,426円

※新しい料金表についてはHPをご覧ください。

● 令和6年3月検針分から新料金が適用されます（2か月検針の場合）

	R5年12月	R6年1月	2月	3月	4月	5月	適用開始時期
奇数月検針のお客様	旧料金	新料金	新料金	新料金	新料金	新料金	令和6年3月検針分から (令和6年4月支払分から)
偶数月検針のお客様	旧料金	旧料金	新料金	新料金	新料金	新料金	令和6年4月検針分から (令和6年5月支払分から)

(令和6年1月1日以降に使用を開始されるお客様は1月から新料金になります。)

発行：池田市上下水道部 大阪府池田市大和町1番10号 TEL.072-754-6069(直通) FAX.072-751-3852

お問い合わせ 経営及び水道料金・下水道使用料の改定に関する 経営企画課 072-754-6069
水道料金・下水道使用料の徴収に関する 総務課 072-754-6106

池田市上下水道部

検索

<https://www.city.ikeda.osaka.jp/jogesuido/index.html>

● 料金改定のポイント

① 水道料金体系の変更

水道メーターの口径が大きいほど多くの維持管理費がかかりますが、現在はどの口径でも基本料金が同じとなっています。

そこで、費用負担を公平にするために、口径の大きさに応じた料金体系に変更します。

また、メーター料を基本料金に含めます。

② 基本料金・超過料金の見直し

水道料金・下水道使用料ともに見直しを行います。一般家庭への影響を配慮し、見直し後も1か月8㎡までは基本料金のみでお使いいただくこととしております。(詳しくはHPをご覧ください)



基本料金を「用途別」から「口径別」へ

現行	新料金	
全口径一律 710円	口径の大きさに応じた料金	
	20mm	800円
	50mm	8,000円
	100mm	100,000円

※上記は一般用の1ヶ月の基本料金の変更内容の一部です。(いずれも税抜)

※現行は上記に加えてメーター料が加算されますが、新料金ではメーター料は廃止されます。

コラム 「実は…池田市の水道料金ってこんなに安いんです！」

コンビニなどで手軽に買えるミネラルウォーター。現在2Lペットボトルなら約100円で購入できますが、これを池田市の水道水2Lに置き換えると約0.2円。なんと500倍の差があります。水道水って実はとっても安くお得なんです。



※出典：小売物価指数(総務省)2022年

● 料金改定の説明会を実施します

- 11月5日(日) 10時から 市役所7階大会議室
- 11月15日(水) 19時から 市役所7階大会議室
- 11月18日(土) 13時から 古江浄水場 ※施設見学を含む
- 11月19日(日) 13時から 池田市下水処理場 ※施設見学を含む

①②事前の申し込みは不要です。会場の収容人数制限により入場できない場合があります。

③④事前の申し込みが必要です。右記の二次元コードから申し込みください。申し込み締切は11月17日(金)17時までとなります。



● 美しい水を未来へ

水道・下水道は共に生活に欠かせないライフラインです。今回の改定は、健全な水循環を次世代につなげていくために必要となるものです。今後も社会情勢や使用量推移を注視し、5年程度で料金のあり方について検討してまいります。

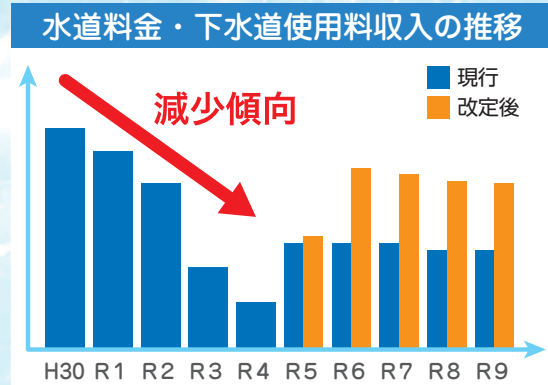
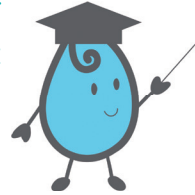
引き続き、経費の削減や効率化など、一層の経営努力を行ってまいりますので、皆様のご理解とご協力をお願いいたします。



なぜ料金改定が必要なのか？市の税金で負担できないのか？

- ・大口使用者の使用水量減少やご家庭の節水機器の普及による収入の減少
 - ・施設の老朽化、自然災害への対応により費用は増加
- このままでは資金不足に陥り安定的な経営が困難

水道事業・下水道事業の経営に必要な経費は、原則として使用者の皆さまからいただく料金・使用料でまかなうこととなっているため、使用者の皆さまに使用量に応じて負担していただいています。



※R3、R4は新型コロナウイルス感染症対策に係る基本料金の減免のため減収しています。

将来私たちが大人になったときに、水道や下水道を安全安心に使い続けるには、料金改定が必要なんだね。

なぜこのタイミングで改定するの？



これまで組織再編・業務の民間委託による人件費の削減、施設の統廃合などにより、経費削減に取り組んできました。今後もさらなる経費削減・効率化に取り組んでまいります。現行料金のままでは、現在の料金算定期間(R5～R9)の費用をまかなう収入が確保できない見込みです。収入減少により、安定的なライフラインの維持に必要な費用を抑えてしまえば、逆に上下水道サービスの低下につながるため、昨今の厳しい経済状況の中ですが、市民の財産でもある上下水道施設を守っていくため改定を行うこととなりました。

《これまでの経営効率化、費用削減策》

- | | |
|---------------------|--------------------------|
| ・浄水場の夜間運転監視業務の委託 | 年間効果額：約 26,000千円(人件費の削減) |
| ・料金等徴収業務の委託 | 年間効果額：約 21,000千円(人件費の削減) |
| ・漏水調査の直営による実施 | 年間効果額：約 7,000千円(委託料の削減) |
| ・伏尾台低配水池の休止 | 効果額：約130,000千円(更新費用の削減) |
| ・下水処理における消毒剤使用料の見直し | 年間効果額：約 10,000千円(薬品費の削減) |

《料金改定について慎重に審議してきました》

令和4年度上下水道事業経営審議会において料金改定を妥当とする答申を受け、令和5年度市議会9月定例会において慎重審議の結果、料金改定議案が可決されました。

《経営戦略を改定しました》

上下水道部では安全で安定した水道水の供給及び下水処理を維持していくために、中長期的な視点で将来を見据えた効率的な事業運営の方針となる池田市上下水道事業経営戦略を策定しており、令和5年10月に改定しました。(詳しくはHPをご覧ください)



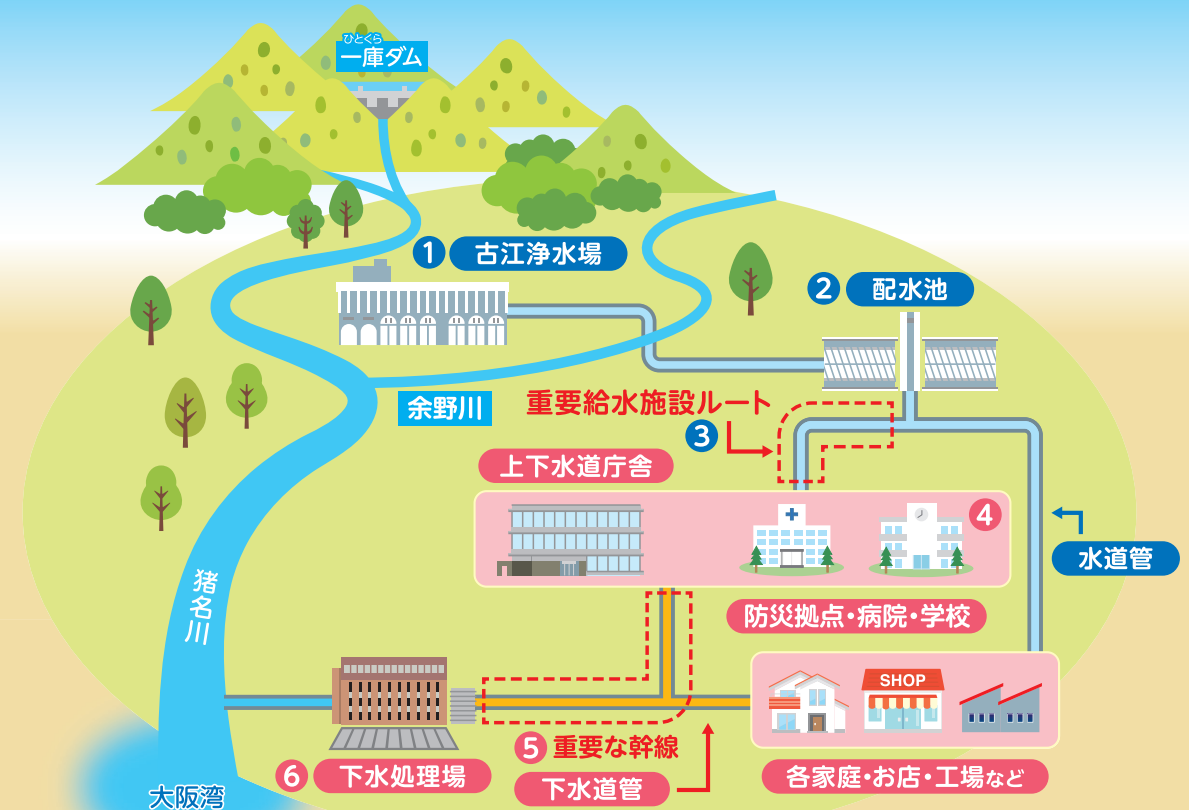
これから何にお金を使っていくのか？



- | | |
|-----|---|
| 水道 | 第2次上水道施設整備計画に基づき、危機管理体制の充実、施設や水道管の老朽化対策を行います。 |
| 下水道 | 下水道総合地震対策計画などに基づき、施設や下水道管の耐震化対策や老朽化対策を行います。 |



池田市上下水道事業のこれからの取り組み



(イメージ)

水道

- | | | |
|--|---|--|
| 1 自家発電設備を設置し、停電時などでも絶え間なく水道水を供給できるようにします | 2 緊急時の水を確保し、配水池から大量の水が漏水することを防ぐための緊急遮断弁を設置します | 3 配水池から学校や病院、防災拠点などの重要給水施設に繋がる水道管の耐震化を図ります |
|--|---|--|

下水道

- | | | |
|----------------------------------|--|---|
| 4 指定避難所となる小学校にマンホールトイレシステムを設置します | 5 学校や病院、防災拠点から下水処理場に繋がる下水道管の重要な幹線の耐震化を図ります | 6 下水処理場の施設を耐震化し、災害が起きても安定的に下水を処理できるようにします |
|----------------------------------|--|---|

水道料金・下水道使用料は、上下水道サービスを維持していくために使われるんですね。



池田市上下水道部では、事業の取り組みを毎年HPで公表しています。

